

## 三粧化研 株式会社

<http://www.sanshokaken.co.jp/index.html>

所在地	大阪府池田市住吉2-14-20	TEL&FAX	072-763-3401	072-763-3402			
代表者	代表取締役社長 岡村 創	創立年月日	1968年7月	資本金	4,800万円	従業員数	59人

### 事業内容

三粧化研株式会社は、「コスメ」の開発・製造・販売という一連の過程を通じて、カスタマーと楽しさや驚き、感動を共有する「エンターテインメント」を追求する「コスメテインメント」の理念の下、日々移り変わるコスメ・トレンドの中で、常にユーザーに共感を得られるコスメの開発に取り組んでいる。

その代表商材として、ピーリングジェルと海藻ゲルカプセルがあり、これらの技術、製品を基に自社製品および、販売のデザインも共に提供する意味を含めたODM(OEM)ビジネスを展開している。

海藻ゲルカプセル



### 知的財産活用事例

従来ビジネスモデルとしては、保有する知的財産に基づく技術により、商材としての素材の販売、および製品のODMを事業としていたが、新しい知的財産の活用法として、技術を知的財産ごと販売するビジネスモデルを取り入れている。

また、素材のバックストーリーや他との差別化が非常に重要であり、日々積極的に取り入れ、コスメにエンターテインメント性を持たせるコスメテインメントの理念のもと商品開発に取り組んでおり、このような考え方に技術と知的財産を合わせたビジネス展開を行っており、その成果の1つとして、「海藻ゲルカプセル」という商品がある。

### 知的財産の創出や活用に関する取組

コスメ市場として、20歳代の市場から50歳代以降の市場の移り変わりに合わせ、ターゲット市場の転換を図っている。

その第一歩として、平成26年度には京都市による京都発革新的医療技術研究開発助成事業の採択により「介護環境改善の為に新ボディ洗浄剤の開発」に取り組み、ピーリング剤の応用展開を図っている。

上記の考え方としては、知的財産を確保してから事業展開ではなく、プロジェクトや商材、市場が動き、データを取得した後、知的財産を確保し、これらをセットでOEMする新しいビジネス展開に挑戦している。

### 起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

知的財産の取得には、ビジネスとして戦略的に取り扱う必要がある。

知的財産がある事が前提で、ビジネスを展開した場合、市場のニーズをつかめない場合がある。データを取得した後に知的財産を活用するのも1つの有効な戦略であると考えている。

具体的には、販売する商品をリアルに想像し、その販売を考える際に「知的財産がどう武器として使えるか」といった順序でプロジェクトを創出すると、市場ニーズをおのずと重視し、これが有効な戦略になりえると考えている。